

令和8年度（第2回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和8年6月25日（木） 14時00分～16時10分
 - 2 開催場所 加古川市役所北館 大会議室
 - 3 出席委員 辻委員、池澤委員、坂田委員、長谷川委員、後藤委員、岸本委員、菅原委員、外山委員、藤野委員、徳田委員、小倉委員、山尾委員、高橋委員（13名）
 - 4 欠席委員 0名
 - 5 出席職員 小南教育長、藤原教育指導部次長、岡本教育指導部参事、今津教育指導部参事、岡本社会教育課長、石坂文化財調査研究センター所長、岸本少年自然の家所長、中倉中央図書館長、石川加古川公民館長、久保田加古川西公民館長、松下東加古川公民館長、後藤両荘公民館長、西澤志方公民館長、小原加古川北公民館長、織田野口公民館長、福島氷丘公民館長、中田平岡公民館長、大西陵南公民館長、北野別府公民館長、木村尾上公民館長、藤田部活動地域展開推進室長、社会教育課（藤原副課長、土屋地域教育係長、花房主査、本田主査）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 14時00分
- 委員長あいさつ、教育長あいさつ

（協議事項）

（1）社会教育施設の運営について

（中央図書館、社会教育課、公民館より説明）

委員

会議資料6ページの「教科書展示会」の参加人数が、延べ6,000人との多い要因は何か。

社会教育課 地域教育係

「教科書展示会」は毎年実施しており、今年度も6月12日から25日の18時まで加古川図書館で開催している。令和3年10月に加古川図書館がJR加古川駅前の商業施設内に移転したことに伴い、令和4年度より、これまで中央図書館で開催していた教科書展示会の会場を加古川図書館の読書スペースに変更したところ、買い物客や図書館の自習室を利用する学生がそのまま立ち寄りやすくなったことで、来場者数が前年度の約3倍に増えた。また、令和6年度には、歴史教科書の改訂が社会的に話題となったことやSNSでの広報を増やしたことで、来場者が前年度の2,633人から4,915人へと激増した。ご質問のあった令和7年度には、教科書展示会にあわせて紙芝居展を開催したり、展示会の様子を動画にして公開したりする等の工夫を凝らしたこと、また、リピーターも増えてきていることも相まって、来場者が6,000人に到達したと認識している。

委員

こどもの読書離れについて、生徒数の減少や電子書籍導入の影響もあると思うが、引き続き対策を検討いただきたい。

委員

東加古川公民館で実施した公民館魅力発信事業の「生成AI時代の情報リテラシー入門」や「はじめてのドローン体験講座」、「ステップアップドローン体験講座」の受講者数が定員を大きく上回っていることから、テーマに対する関心の高さが伺える。また、一部の受講者には、得た知識を仕事に活かそうという目的があるのではないだろうか。志方公民館で実施した生涯学習創出事業のパソコン教室も同様に、様々な働き方がある中、自身のキャリアアップのために受講している方もおられるのではないかと思います。

委員

公民館魅力発信事業の事業効果はいかがか。

社会教育課 地域教育係

魅力発信事業については、令和4年度に新しくリニューアルオープンした東加古川公民館と子育てプラザが併設しているという特色ある施設であることから、通常の生涯学習創出事業に加えて、他の公民館とは違った形で公民館の魅力を伝えていくため実施しており、職員の人員体制も2名多く配置しているほか、予算も追加で措置しているところである。事業実施後の参加者アンケートでは、9割以上の方が満足度で「良かった」と回答していたことや、来館回数が「初めて」または「何度か」と回答した方が6割程度いたことから、普段公民館に馴染みのない層を一定獲得することができていると認識している。

一方で、その他の公民館においては、東加古川公民館と同じ予算構成や人員体制を敷いていくのではなく、それぞれの地域性を鑑みながら事業を検討する必要があると考えており、積極的に新しい事業を打ち出し、ニーズを確かめ検証していくという各公民館の動きは、東加古川公民館の良い影響を受けているものと認識している。引き続き、公民館魅力発信事業で得た様々なノウハウをその他の公民館にも広げていくことで、市全体としての事業価値を高めていきたい。

委員

地域の公民館が多くの子民の集える場所であることが最も望ましい。公民館に来てもらうきっかけとして、魅力発信事業や各公民館で開催しているこどもや親子向けの講座は有効であると思う。それが発展して、いずれは住民自ら地域で何かやりたいというときに公民館を利用することにも繋がれば良いと考える。

委員

図書館では学習スペースが増えつつあるが、公民館の状況はいかがか。

加古川西公民館長

学習スペースについては、常時ロビー等を開放していたり、夏休み期間限定で部屋を開放していたりと公民館によって様々である。加古川西公民館では、夏休み期間中に空いている部屋を中高生に開放しており、常連も多いが、1日に10人程度が利用している。

加古川公民館長

加古川公民館は、1階のロビーに、自習や歓談、ゲームをする等自由に利用できるフリースペースを設けている。用途を学習に限ってはいないが、最近は、小学生が毎日のように利用していたり、高校生や大学生が勉強をしていたりする様子が見られる。

委員

会議資料 22 ページの「加古川市立公民館 特色のある公民館事業等（抜粋）」を見ると、

こどもたちを主体にした事業が多いが、参加者の募集にあたっては、居住する中学校区の住民を対象としているのか。

加古川西公民館長

市内全域を対象として募集しているが、校区内の住民からの応募が多い。こどもを対象にした事業は保護者の送迎が必要であることが多く、このことが少なからず関係しているものと考えている。なお、募集定員を超えた場合、校区内の住民を優先することはあり得る。

委員

最近、事業の広報チラシを見たこどもたちから、友人同士で参加したいという声が上がりがつあり、これは各公民館の努力の結果であると思う。先日も娘から、ある公民館事業に友人と参加したいと言われたことがあった。開催場所が自宅から離れた市内の公民館であったが、保護者同士で協力し合って送迎することで、参加できる見通しとなっている。今後展開されるかこ☆くらの魅力は、居住する中学校区の枠を越えてこどもたちが活動できることであると考えている。募集定員を超えた場合に校区内のこどもを優先する趣旨は理解できるが、事業の実施にあたっては、今後も市内全域のこどもを対象とし、こどもの学びの可能性を広げられるような公民館の事業運営やかこ☆くらとの連携をお願いしたい。

委員

こどもたちが興味を示す事業等を公民館が発信していくことは大事だと思う。公民館を利用する年齢層が高くなり、利用が減ってきている中で、若年層にも公民館を利用してもらえるようにしていかなければ、公民館活動が減退してしまうのではないかと懸念している。先ほど委員がおっしゃったように、校区の枠を越えた事業展開や、若者にひとまず公民館に来てもらえるようなPRが必要だと考える。

委員

学校としては、こどもたちが公民館まで安全に行けるかを重要視している。そのうえで、公民館がどんな施設であるかを知らないこどもも多いと思うので、公民館へ行くことを勧めるような学校側からの声掛けも必要なのかもしれない。体験活動とまではいなくとも、これからの季節であれば涼みに行く目的でも良いと思う。こどもたちが気軽に行けるような場所であってほしい。

委員

かこ☆くらが始まるにあたり、学校としても、生徒の放課後の過ごし方にかかる動向を注視している。公民館のような地域で何か活動できる場所があれば、こどもたちは集いやすく、また新たな取り組みも生まれてくると思うので、一緒に考えていきたい。

委員

令和7年度の公民館登録団体数について、前年度比の減少幅が小さくなったように思うが、どのように分析しているか。

加古川西公民館長

公民館の登録団体数や在籍者数については、全国的に人口減少が進む中で、何とか現状維持している状況である。在籍者の高齢化や登録団体協議会での役を担うことに負担を感じている団体も少なからずあるため、その軽減を図りたいと考えている。また、地域の社会教育振興のためにも、文化祭や展示会、発表会等を住民に見てもらい、活動内容を知っ

てもらうという取り組みを実施しているところである。

委員

登録団体であることのメリットを感じにくくなっているところがあると思う。委員からも提案していかなければならないが、例えば公民館使用料を無償化する等の方策を検討する必要があるのかもしれない。また、公民館と登録団体との連携を一層深めていただきたい。

(2) 部活動地域展開に伴う社会教育施設のあり方について

(部活動地域展開推進室、社会教育課、加古川西公民館、両荘公民館より説明)

委員

かこ☆くらの開始にあたり、小・中学校の体育館やグラウンドの需要が高くなることが予想され、会場の確保は課題になると考えている。生徒の安全な移動の観点からも、公民館の多目的ホール等も会場として活用できれば良いのではないかと思う。かこ☆くらの実施にあたっては、公民館も含めた事業展開や会場確保をお願いしたい。

部活動地域展開推進室長

かこ☆くらの活動場所の確保は課題であり、中学校施設をかこ☆くらで優先利用することは、関係各所に大きな影響を与えていると認識している。特に文化系種目の活動場所として、公民館は立地の有効性や安全性の高い施設であると考えているが、社会教育施設としての役割や登録団体をはじめとする利用者を鑑み、まずは、中学校施設を優先して活用することで調整しているところである。

しかしながら、委員のご指摘のとおり施設数には限りがあるため、特に文化系種目において、かこ☆くらをきっかけに地域で中学生を受け入れ、公民館等で多世代が一緒に活動していただくことも必要であると考えている。引き続き、社会教育課や各公民館と連携しながら進めていきたい。

委員

会議資料 24 ページの「かこ☆くら体験会」について、テスト期間と重なっている種目が多くあり、私が立ち上げに関わった種目もテスト期間中の実施であったため、参加者があまり集まらなかったということがあった。公民館で実施するものはテスト期間を外していたようであるので、同じように時期が違えば、参加できた生徒ももう少しいたのではないかと思う。現在所属する部活動がなくなる中学生にとっても、このような体験会は非常に貴重な機会であるが、テスト期間中のため参加を断念したということが私の周りでもあったので、今後体験会を実施する際はテスト期間を考慮してはどうか。

また、かこ☆くらで公民館を利用する場合は、優先して予約できるような仕組みがあれば良いと思うがいかが。

社会教育課 地域教育係

公民館の利用にあたっては、公民館登録団体の年間予約を調整した後、かこ☆くらの地域クラブの優先予約ができるよう取り扱っており、8月からのかこ☆くら先行実施でも、優先して予約の調整を行ったところである。

委員

地域クラブであれば、公民館の使用料は無料となるのか。

部活動地域展開推進室長

先ほど委員からのご意見いただいたように活動場所は逼迫しているため、すべての地域クラブが無料ということではない。地域クラブは、要件により2区分に分けて登録することとしており、市立中学校に通う生徒が団体参加者全体の2割以上在籍し、活動している地域クラブは全額免除、それ未満の地域クラブは5割減免、一人も在籍していない場合は減免しないというように段階的な減免規定を設けている。

委員

公民館にも指定管理館があると思うが、地域クラブの利用による減免が増えることで収入が減ってしまい、運営に支障をきたすことはないのか。

また、かこ☆くらに関して、社会福祉協議会でできることがあれば協力したい。

社会教育課 地域教育係長

指定管理館の公民館使用料については、利用料金制ではなく収受代行制であることから、かこ☆くらをはじめとする減免団体の利用が多いことが指定管理者の財政負担にはならないと考える。

委員

かこ☆くら体験会を実施する25種目42団体すべての体験に参加することはできないと思うので、こどもが視聴できる動画を作ってはどうか。

部活動地域展開推進室長

現在、前向きに検討中である。

委員

本日も地震があったが、公民館は避難所にもなるので、こどもたちが日頃から利用できる環境を作っていくことはとても大事なことであったと感じた。

先ほど社会福祉協議会でできることはないかとの話があった。かこ☆くらの開始に伴い放課後に地域で過ごすこどもが増えるが、事故の多い時間帯と重なる。交通マナー啓発の観点からも、例えば見守り活動をしてくれるボランティアがいれば、こどもが安全に過ごすことができ、保護者の安心にも繋がると思う。

また、フリースペースが既にあることは認識しているが、自由に議論できるような場所があれば、図書館や公民館にこどもが集いやすくなるのではないだろうか。フリースペースは、先に自主学習で利用しているこどもがいたときに、静かにする配慮を求められることがある。資料を集める場所がある図書館や誰かに聞ける環境がある公民館等で、自由に議論できるスペースがあれば、もっとこどもたちが来やすくなると思う。

最後に、市外ではあるが私のこどもも中学生であり、部活動をしている。所定の活動時間には制約があり毎日活動できない環境にあるが、友人同士で相談し合って、どこの公民館で何が利用できるかを一生懸命に調べているようである。遠方であるので、保護者の送迎が必要であることも多いが、どこの公民館に何があるのか等を可視化することで、こどもたちが主体的に動けるようになると考える。こどもたちが見られるようなホームページや利用申し込みができるような環境があればなお良いと思う。

(報告事項)

(1) 兵庫県社会教育委員協議会総会・研修会(6/1)の参加報告について

(2) 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会総会・研修会(6/5)の参加報告について

○ 閉会 16時10分
副委員長あいさつ

以 上